

9月の院内学級

9月の院内学級の報告です。院内学級の大窓から見える五月山の「緑」は、晴れた秋空の「青」と見事にマッチして浮き上がって見えるようです。

今月の院内学級には3名の子どもたちが来てくれました。8月までの人数からは大きく減りました。例年そうですが、学校の2学期がスタートし、(計画)入院そのものが少なくなるからです。さらに、大型連休や各学校での運動会の開催やその練習期間中ということもあるのでしょう。なお、病棟には、病状や年齢で院内学級の対象外の、あるいは対応できない子どもさんもおられます。ですので病棟全体ががらんとしているわけではありません。

さて、今月は4月からの子どもたちの工作作品の一部を紹介します。すべて人気の工作“ドーム”です。どのドームも、プラバンで作ったキャラクターやオブジェと小さいビーズを10個以上入れています。ドームをひっくり返すと、ビンの中をビーズがゆっくりと舞うようになっています。

右下の写真は幼児でも作ることのできる簡易型です。

